



今月のインタビュー  
TSO International  
株式会社  
代表取締役  
佐々木 剛さん

発行所：株式会社 MICE 研究所  
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 5F  
TEL03-6721-5303 sofu@event-marketing.co.jp

TAKE FREE

www.event-marketing.co.jp



## ハロウィンに学ぶイベントの未来

そのイベント、どこで開催するの？

会場がわかれば、どんな人が集まるのか、何人くらい来るのか、仕事なのか、学びなのか、楽しみなのか、だいたいわかる。それによって、誰を誘おうか、どんな服を着ようか、どんな気分で行こうか、なにを持っていこうかと考えだす。

イベントがどう進化していくかは場所のもつ

力、イメージによるものが大きい。

渋谷のスクランブル交差点付近のハロウィンは、主催者がいない自然発生的なイベント。街の発信力と求心力が数十万人という人を集める。ゴミやマナーの問題はあるが、人を熱狂させるエネルギーをもつ。地味ハロウィンのような派生イベントも生まれた。

そんなハロウィンも今年は様変わり。「渋谷

には来ないで」と長谷部健区長が自ら訴えている。人が集まるかわりに、渋谷区は公式のバーチャル渋谷を用意。「密」をつくらずに、参加者がハロウィンを楽しむために、Clusterをプラットフォームに渋谷未来デザイン、KDDIなどで組織された実行委員会がオンラインイベントを主催。アイドルやお笑いのライブも行われる。表紙写真のはがせるフェ

イスペイント、ミラクルペイントもオンラインで、ハロウィンメイクのやり方をレクチャー。

オンラインで同じように楽しめるのか、みんなが満足できるかはわからない。ただ、以前と同じには決してならない。この新しい体験が、場のもつ力、集まることの意味を分らせてくれるだろう。

今号では大阪・東京ビジネスイベントエリアを特集。オンラインやハイブリッドが増えるなか、イベントの意味、場のもつ力、当たり前になっていたことをもう一度考えよう。

(写真：©MIRACLE PAINT)

オンラインでも オフラインでも、  
**ビジネスイベントのお悩みは**  
**イベントレジストにお任せください!**

イベントレジスト株式会社  
https://eventregist.com

資料請求・お問い合わせ  
contact@eventregist.com

### 申込受付を統合管理

- ・ウェブ事前受付、オンライン決済
- ・イベントへのスマートチェックイン
- ・動画、ライブ配信の申込者のみの視聴制御

### ワンストップで対応可能

- ・企画 ・会場手配 ・デザイン / 施工
- ・運営進行 ・撮影 / 映像 / ライブ配信
- ・申込サイト制作

### ビジネスイベントの実績多数

- ・カンファレンス ・セミナー ・展示会
- ・ウェビナー ・オンラインイベントなど

# 大阪・東京ビジネスイベントエリア

再開発が続いている大阪・東京。そこには新しいスポットや賑わいなどひとが集まるだけでなく、知識や情報が集積し、ネットワークを形成してひととの横のつながりの場をもたらすコトづくり=イベントでの街づくりも進行している。MICEの現在地で、新しい風景をつくろうと活動するMICEなひとたちの言葉から少し先の未来を妄想してみよう。

## 【大阪】MICE 経済政策 いかにアクションするのか

### MICE の位置付けと 雰囲気を変えた3つの試み

コロナ禍でのイベント再開の第一声は、大阪から聞こえてきた。もちろんイベント会場での催事がゼロだったわけではないが、7月の「ホテル・レストラン・ショー & FOOD EX JAPAN in 関西（以下、関西ホテルズ）」を含めた7展の大型展示会の再開は、全国のMICE関係者にとって大きな後押しとなった。視察にきた主催者の多くが、いち早く実施された要因の一つは「行政との連携」と口にしてきた。

大阪で行政とMICE主催者の調整役としての大きな役割を担うのが大阪観光局。MICE政策統括官を務める田中嘉一さんは「評論せずに、いかにアクションをとるのが大事」と、今回の試みを振り返る。

積極的なMICE推進の背景には、絶好調だったインバウンドの減少をどう戻すのかという使命もあった。「観光を一般観光とビジネス旅行に大きく分けると、MICEは後者にあたり、まずは不要不急ではないビジネス旅行から戻すことで、雰囲気を変えていく必要があった」と先行施策の理由を話す。

東日本大震災の際にもビジネス機会をつくる展示会を実施して復興のムード醸成した経験を思い起こし、大阪観光局では3つのことを展開した。第一に、知事と市長の理解を得て全国に先駆けMICE開催の旗をあげることに、第二にガイドラインを策定すること、第三に目に見える形で開催をしていくことだ。4月の段階で関西ホテルズの開催を宣言し、6月3日には大阪府と大阪市の合意のもとガイドラインを

田中 嘉一さん  
公益財団法人大阪観光局



策定、7月29日からの関西ホテルズはガイドラインの実証実験の場として、ガイドライン策定に参加した大阪市立大学大学院特任講師の加瀬哲男さんとともに視察している。

2021年には、「FOOD EX JAPAN in 関西 2021」の新規開催が決定。「ツーリズム EXPO ジャパン 2021」は東京開催予定だったが、東京オリンピック・パラリンピック開催延期により、大阪開催になった。「大阪モーターショー 2021」も決定し、来年はメガ展示会が大阪での開催を予定している。

「with コロナの本質は、“やり方次第ででき

### スピード感ある施策と実行



感染症拡大のリスクを抑え、MICEを開催するための主催者向けガイドライン



「ホテル・レストラン・ショー & FOOD EX JAPAN in 関西」

大阪観光局では、6/3にはガイドラインの初版を発表。7/29に国内初の大型展示会を実際に大阪で初開催し、ガイドラインの実証実験の場にもしている。

特徴的なのは、8頁のガイドラインのうち最初の2頁を「MICEは経済発展・地域活性の「エンジン」」「コロナ禍からの経済回復のため、MICE開催を推進!」と価値とメッセージをしっかりと組み込んでいることだ。

る”という発想でチャレンジすること。2025年大阪・関西万博に向け、新しい価値創造に挑戦し、世界水準のMICE都市大阪へ引き続き重要政策として推進します」

# Go to Hybrid Exhibitions

割引はないけど、  
効果は最大限へ

**Sakura**  
international



**Web/IT**

リアル・オンライン・ハイブリッドイベント企画・  
デザイン・設計・施工・運営（事務局含）等

サクラインターナショナル株式会社  
http://www.sakurain.co.jp

■ 東京本部：東京都江東区木場 2-17-13 第二亀井ビル 5階

■ 大阪本社：大阪市中央区備後町 1-7-3 ENDO 堺筋ビル 3・4階

tel. 03-5646-1160

tel. 06-6264-3900



## [東京] ビジネスイベント拠点としての竹芝・渋谷 東京観光財団のサポートと期待

人が集まることが難しくなったいま、イベントの価値が改めて問われている一方、街づくりは人の賑わいと、その装置としてイベント施設が組み込まれている。日本のイベントを牽引していくこれからのイベント形式に欠かせないIT系の大手企業の拠点であるという共通点はあるものの、それぞれ違う個性をもって東京の動きを、街づくりの視点からみてみよう。

### 地域内の施設が連携し 総合力でイベントを

観光振興のため「最高の東京体験」の提供をサポートする東京観光財団は、ビジネスイベントの誘致・開催も支援している。

これまで大丸有、六本木、臨海、日本橋、品川、八王子、立川をビジネスイベントエリアに選定。今年9月に新たに加わった「渋谷エリア」と「浜松町・竹芝・芝浦エリア」が、新たなMICE需要に応える拠点にと注目が集まっている。

東京観光財団は、MICE受入施設が一定程度集積するエリア内のステークホルダーをまとめる組織をサポートし、3年間の財政支援と7年間のハンズオン支援を行う。同財団コンベンション事業部の藤村博信さんは言う。「ビジネスイベントの開催には、会場、ユニークベニュー、宿泊施設を始めさまざまな事業者が関わります。彼らが一体となり、地域の総合力を発揮、またお互い連携してMICE主催者の利用目的

にあわせた形で提案していくことが東京へのMICE誘致につながります。」

地域内の連携と同様に、都内の各エリアの特徴を活かして、1つの東京としての競争力を向上させるため、これまでのMICE誘致の知見を活用しコーディネートするなど、海外イベントの誘致、受け入れ態勢の整備を今後も東京観光財団はサポートしていく。

### 各エリアの個性を活かし 新しいMICEで東京の未来を

今回の2エリアは、それぞれ違う特性をもち、東京MICEの新しい顔として期待されている。

「渋谷エリアはそれぞれの施設は大きくはありませんが、駅前に開発された最先端の施設間を歩道橋でつなぐなど、街全体でイベントを開催するという新しい形ができるのではないかと期待されます」(藤村さん)

### 藤村 博信さん



東京観光財団  
コンベンション事業部  
次長

浜松町・竹芝・芝浦エリアは、3地域それぞれに開発が進んでいるが、歴史的建造物と新しい開発、イノベーションが融合しており MICEによる来訪者が短い滞在時間のなかでさまざまな東京の側面を体験できる。

藤村さんは「コロナ後の観光振興を行いつつ、MICEという視点では数年先を見越して動いています。MICEは未来を担保するという考えの下、コロナ禍の今も積極的に活動しています。シンガポールやソウルなど、国際競争の相手はさまざまな施策をうっていますので、東京も立ち止まってはられない」と語る。東京のプレゼンスをさらに向上させる竹芝・渋谷の新たなMICEに期待が高まる。

### 竹芝エリア

## 空間資源を活かし エリアを楽しむ MICE



佐々木 祥さん  
一般社団法人  
竹芝エリアマネジメント  
事務局



### 浜松町・竹芝・芝浦 多様な東京の顔が凝縮

竹芝・芝浦は、舟運の荷揚げ場として整備、利用された埋め立て地で、倉庫街や近年再開発された商業施設ホテルなど、大きな街区で構成。浜松町は古くから発展し、増上寺などの歴史的建造物や雑居ビルなどもひしめく。江戸から続く町と再開発途上の新しい街と東京の二つの顔が混在したエリアになっている。

### 3 地区で進む 再開発と施設整備

羽田空港からモノレールで直結する浜松町。世界貿易センタービル内の会議施設 WTCコンファレンスセンターは、国内のアク

NISHIOのオーダーメイド

## プラダンコンテナ

受注製作  
開始!!



1個から製作OK!

内容物に合わせた  
オリジナル設計

緩衝材も合わせて  
大切な商品を  
しっかり守ります。

**NISHIO**

西尾レントオール株式会社  
RA 東京営業所 RA 東京スタジオ

東京都足立区西保木間 2-5-10  
✉ ratokyo-sign@rent-all.co.jp  
Tel 03-5851-9240  
Fax 03-5851-9267



TOKYO PORTCITY TAKESHIBA  
PORT HALL  
PORT STUDIO

歓びと閃きの  
ハイブリッド



セスを活用した催事が多く開催。建て替え後は(仮称)浜松町MICEセンターが整備される。隣接する日本生命浜松町クレアタワーには浜松町コンベンションホール&Hybridスタジオが開業した。

水辺を活かした街づくりの舟運の玄関口ともなっている竹芝には、東京ポートシティ竹芝が9月に開業した。東京都立産業貿易センター浜松町館のほかに、映像・配信設備が充実したポートホールとポートスタジオが加わった。

芝浦では、東芝ビルディングなどの「芝浦一丁目計画」が進み、アフターコンベンション施設、次世代エネルギー交流施設の整備などが予定されている。

### 横のつながりをビジネスに 特性活かすユニークな提案を

「大型のイベント施設がないためにMICEグループの宿泊を受け入れられないホテルと、カンファレンスセンターを連携して、ビジネスチャンスを逃さない、ということから、エリアMICEにも取り組んでいく」と一般社団法人竹芝エリアマネジメントの佐々木祥さんは言う。

各施設の情報や魅力を取りまとめ、ワンストップ窓口で発信問合せ対応などもしていく。「空と海の玄関口、庭園や歴史的建造物、劇団四季、デジタル×コンテンツ産業、スマートシティ、の有力なコンテンツを組み合わせ、他地域にはないユニークなMICEをプランナーの方と一緒ににつけていきたい」と佐々木さんは語る。

### 渋谷 エリア

## これからの日本を表現する 渋谷らしい MICE

### 小規模の施設連携 再開発のなかの MICE

渋谷駅前には、セルリアンタワー東急ホテルのボールルーム、渋谷スクランブルスクエアの3つのイベントスペース、渋谷ヒカリエホールなど、大きくても2500㎡ほどの、コンパクトな空間が、数多く駅前に点在している。

「それぞれの会場の規模にあわせてインセンティブなど中小規模のMICEが最初のターゲット」と渋谷MICE協会の事務局長の杉野仁美さんは言う。また、各施設を連携して、街全体を1つの会場として開催したり、といった新しいMICE開催の形を描けそうだ。

### 若者の街、商業の街から 大人の、ビジネスの街へ

「100年に1度の再開発」となっている渋谷は、若者だけでなく、大人が楽しめる街、そして、ビジネスの街にもなっている。IT企業が高層ビルの相次ぐ開業で、増えたオフィススペースに入居し、スタートアップ企業も多い。「渋谷の街はいま“職遊近接”の過渡期にある」(杉野さん)。

そこで渋谷MICE協会が考えたキャッチコピーが「渋谷MICE×MICE」だ。



**杉野 仁美さん**  
一般社団法人  
渋谷MICE協会  
事務局長

最初のMICEは、Music、IT、Culture、Entertainmentの頭文字からとった、独自のキーワードだ。人を引き付ける渋谷の街の魅力を街のMICEにも活用する考えだ。

### これからの日本を見せる ユニークベニュー

渋谷駅前には、屋上展望空間「渋谷スカイ」など人を引き付ける話題のスポットができていく。開発予定のさら地を占有してのパーティ、空中遊歩道などの交通導線、モビリティの開発など、ユニークベニューは新しくつくりだせる。「ユニークベニューは日本の伝統を見せるだけではない。これからの日本を表現するのが、渋谷らしい」と杉野さんは言う。

常に変わっていく街を会場にして、イベントの参加者に未来をみてもらうのが、渋谷の強みになりそうだ。

### 渋谷 エリア

## ONE-STOP! SHIBUYA で 街の発信力をイベントの力に



### イベントコンテンツは 渋谷のソフト資源

9月末にオープンした渋谷のイベント情報サイトONE-STOP! SHIBUYAが「使いやすい」とイベントプランナーに好評だ。

サービス運営する東急メディア・コミュニケーションズの岩八重祥子さんは「ONE-STOP! SHIBUYAは街の魅力をイベント関係者に伝えるもの。多くのイベントを開催してもらうことで、渋谷をより楽しく、さらに魅力的な街にすることが目的」とそのコンセプトを語る。

### スペックでなくストーリーで 施設の魅力伝える

ONE-STOP! SHIBUYAのウェブサイトは、施設情報だけでなく、イベント開催・誘致に役立つ、コンテンツで構成され企画書に掲載する順番になっており、実用性も高い

- SHIBUYA VALUE  
渋谷の街がどんな街なのかを紹介する。来街者データ、人の流れ、交通アクセス、ビジネス環境、渋谷の魅力を数値とテキストで紹介。
- PLACE  
渋谷の街にあるさまざまな形態イベント施設網羅。駅・屋外広告も掲載し、検索ができる。
- EVENTS CALENDAR  
イベント開催効果を高めるため親和性の高い催事と同時期に開催したり、連携する街全体をつかった施策につなげられそうだ。
- COLUMN

イベント主催者やステークホルダーへ取材。スペックでは伝わらない施設の魅力・使い方や、企画のヒント、ストーリーを載せている。

### 隙間をうめて 新しいイベントの形を

「ウェブサイトはユーザーとのインターフェースに過ぎない」(岩八重さん) ONE-STOP! SHIBUYAの本質は、プランナーのコンシェルジュの役割。「工事現場でのファッションショー開催をお手伝いしたこともある。開発が進む渋谷の街は、その時期にしか使えない潜在的なユニークベニューも多い。それを活用するためには多くのステークホルダーからの情報や許可、協力が必要。私たちはそのお手伝いをして主催者の皆さんと一緒にイベントをつくっていききたい」(磯野絵璃奈さん)。

スクランブル交差点をはじめ、渋谷の街自体が強力な発信力をもつユニークベニューだ。そこを使って他ではできないイベントを実現する方法がプランナーの前にあらわれた。



**磯野絵璃奈さん**  
東急メディア・コミュニケーションズ  
株式会社 企画開発本部



**岩八重祥子さん**  
東急メディア・コミュニケーションズ  
株式会社 企画開発一部



## 貸し会議室の新しいカタチ

REAL EVENT × ONLINE EVENT

## MeetingSpace AP 品川 コロナ対策 × オンライン

「オンライン × リアル」ハイブリッド内覧会《WEB会議・LIVE配信がわかる貴重な体験会（2日間）》

## APオンラインのWEB会議・LIVE配信をリアルとオンラインで体験できる2日間

品川駅港南口に新しくオープンした「MeetingSpace AP 品川」にて、コロナ対策を施したリアルイベント、WEB会議・LIVE配信の実際がわかる内覧会「1st PREVIEW『オンラインEvent × リアルEvent』空間のダブルスタンダード体験会」が9月28日・29日の2日間にわたり開催された。

29日のみ行われたセミナーではリアルタイムでのYouTube配信も行い、併せてSUPER PENGUIN株式会社・竹村尚久さんがプロデュースする出展者のいない新しい展示形式を提案する「PHASE in AP SHINAGAWA」(両日)も開催され、新会場の内覧会に加え新たな様式でのハイブリッド型イベント・展示会を体験できる内容となった。

入室5分ですぐに使えるWEB会議  
2つの安心プラン

ギガ高速通信と下り1Gbps・上り500Mbpsの施設専有回線の環境下でのWEB会議を提案。入室5分ですぐに使える「コンパクトプラン(10～20名の小規模WEB会議)」「スタンダードプラン(30～100名の高画質・高音質WEB会議)」を実際にデモしながら提案した。マイ



WEB会議での聞き取りにくさを解消。いつもより話しやすくなる環境に

ク・プロジェクター・WEBカメラの機材が一式揃う。

安心のケータリング求める声に提案  
Catering

これまで立食パーティーといえばビュッフェ形式が中心だったケータリング。しかしコロナ禍において提供方法も進化している。

料理テーブルの上は透明なフィルムでカバーされていた。装飾はしっかり行いながらも、コロナウイルス感染拡大防止への工夫がみられる。また、ウェルカムドリンクには、和の



フィンガーフードも一つずつ個包装になっている

プレミアムシロップ「WATSUNAGI」を使ったノンアルコールカクテルも提供。

LIVE SPACE AP  
ウェビナー体験会

AP品川の8部屋あるなかで、207㎡のROOM Aでは30分の2つのセミナーを実施。新たな様式のイベント開催を実践するゲストを迎え、リアル参加者とオンラインでの参加者の双方に向けて展開した。オンラインではリアルタイムでYoutubeにて配信。実際にオンラインとリアルイベントを行う際のモデルケースとなった。

セミナー①「リアルさいこう!サイボウズが社内外イベントを重視するワケ」には、サイボウズ株式会社の鈴木亜希子さん(ビジネスマーケティング本部プロモーションディレクター)と福西隆宏さん(人事本部感動課)が登場。リアルイベント再開に向けての考え、サイボウズの企業文化やオンラインイベントを経て今感じているリアルイベント価値などが語られた。11月には自社イベント「Cybozu Days Tokyo」をリアルイベントとして開催する鈴木さんは、大型のイベントのため会場の規模や換気、また感染者数の多い地域から少ない地域への移動などが無い



APオンラインの「LIVE配信プラン」(機材+オペレーター)でYouTubeLive配信。3面スクリーンにも投影。



かなどを開催判断としてリアル再開の考えを伝えた。インナーイベントを実施する福西さんは、オンラインにシフトしているが熱量を感じるものはリアルが勝る。もともと実施していたが多拠点をつなぐオンラインイベントに舵を切りたいと状況を話した。

セミナー②「外部会場を活用するオンラインイベントの使い方、ハイブリッドへの移行」には、原田千亜紀さん(株式会社ヤプリーPR&オフラインマーケティング部 部長)と堀野勝也さん(ALPHABOAT 合同会社 マネージャー/チーフエバンジェリスト)が登場。コロナ禍の影響でイベントをオフラインからオンラインに切り替えるにあたり行った施策や、

プロの力を借りる事でどのような変化があったのか、リアルな現場の話を聞くことができた。4月から9月まで60回もの自社セミナーをオンライン配信した原田さんは、オンラインセミナーが多数開催されるようになった6月以降から約300名以上の集客を目標とする際にはプロへの依頼に移行。画面構成とともに特に音声の調整などが重要だと語った。映像制作のプロである堀野さんはテレビなどのBtoCの制作を行ってきた経験と技術をウェビナーに展開。B2Bにおいてもライブ配信数の増加は顕著で、主催者の意向を汲み、クオリティーに振る配信と視聴者の行動を鑑みた設計の画面デザインにしている点など、ポイントを伝えた。

APオンライン  
LIVE配信の舞台裏

ウェビナー体験会は、リアルのステージとオンラインのライブ配信のハイブリッドで展開。配信を担当したのは、映像音響・撮影機材のレンタル運営、映像制作をワンストップで提供するアークベルだ。

リアルでは、スクリーンは3面用意され、登壇者やスライド資料を映す用に前面に2面、配信の舞台裏がわかるようにステージ横にオペレーション卓をわかりやすく配置し、そのようすをサイドスクリーンに映し出した。ま



た、YouTubeライブでの配信画面の構成は、リアル会場で映し出す映像とは異なる画面構成で配信。たとえば、リアルではスライド資料のみをスクリーンに流すが、オンライン上ではスライド資料とともに話しているスピーカーのカメラ映像を合わせて出すなど、オペレーターが映像をスイッチしながらライブ配信映像を即時に絵つくりしていた。



MEETING SPACE

AP OnLine

“オンラインに最適な新しいビジネススペース”

新型コロナウイルス感染防止

7つの対策がわかる  
特設サイト公開中

株式会社 TCフォーラム

東急グループ「貸し会議室」  
東京・横浜・名古屋・大阪にて展開

WEB会議・WEBセミナー・LIVE配信

ミーティングスペース AP オンライン

ギガ高速通信 × 施設専有回線  
ARTERIA Networks 下り1Gbps 上り500Mbps

“いつでも”すぐにはじめられる“お得なWEB会議”プラン

『コンパクトプラン』  
トライアル特別価格! (税別)  
¥25,000

“カメラもプロジェクターもマイク”も使える

“コミコミWEB会議”『スタンダードプラン』  
トライアル特別価格! (税別)  
¥40,000

# 「貸し会議室×展示会技術」新たな空間価値の発見！ 出展者のいない展示会 [PHASE] in AP 品川



対談

株式会社 TC フォーラム営業推進部長付  
デザイン・テクニカル担当 室長 最上 直生さん (写真左)

SUPER PENGUIN 株式会社 代表取締役 / CEO  
展示会デザイナー 竹村 尚久さん (写真右)



オンラインとリアルの間・展示会の新形式 [PHASE] が同時開催。  
1m幅の展示台は1on1でじっくり展示物をリアルでみれて、出展者とはオンラインで会話ができる。

—AP 品川の内覧会では、8ルームあるうち、2つある大きなルームの一つをWEBセミナー、もう一つを展示でみせる試みでした。貸し会議室×展示のコラボのきっかけは

**最上** AP品川は当初5月のGW前にお披露目をする予定でした。それが新型コロナウイルス感染症のため、内覧会の機会を失い、世の中のイベントや貸し会議室に求めるキーワードも変わってしまいました。以前は、アクセス、ロケーション、設備が優位性の高いワードでしたが、安心安全、3密回避、換気が変わり、内覧会での内容の切り口を考えていたところに、飛び込んできたのが、「無人の展示会やります」というネットニュースだったんです。竹村さんの主催した「PHASE」第一弾でした。「出展者のいない展示会」という言葉が胸にとってもひっかかりました。

**竹村** 「PHASE」第一弾は緊急事態宣言の明けた直後の6月1日から5日間開催して、半分リアル、半分オンラインという形式での展示会が話題となってニュース番組でも取り上げられ、イベント関係者の参加も多くありました。今回の第二弾のお話も、実は第一弾の終了後に色々なところからお声がけがあって、次はどうすべきか考えていた

んです。「貸し会議室で」というお話を伺った時に、ピンとくるものがあった。今の展示会の状況の中で貸し会議室での展示に何かしら可能性があるんじゃないのかなと、まず直感で思ったのが一つだったんですね。

普段、大型展示会場で展示会のブースデザインをしていて、ようやく展示会が再開したなか、以前よりも来場者が少なかったり、出展者も参加を控えたりということに直面して、貸し会議室での展示が解決策のひとつになるんじゃないかと思ったんです。

—どのような課題に貸し会議室のメリットが当てはまるんでしょうか

**竹村** 展示会業界の課題として、出展者の商談機会の創出をしている立場としては、いま出展者側もコロナ禍で経済状況が悪化していて、これまでのような複数出展したり、1回に費用をかけづらかったりというコスト感での課題があります。また、特に地方からの出展者には、感染者数の多い東京へ出ることを怖いと感じているところもあります。

もちろん大型展示会を否定しているわけではなく、展示会のあり方として、出展バリエーションがコスト面でも、オンラインなどの参加スタイルで

も、選択肢が広がるのはいいんじゃないかというのが「PHASE」の提案なんです。

貸し会議室には、駅近、お手軽感、また大型会場に比べて安定したWi-Fi環境という点にメリットを感じます。AP品川もそうですが、ほぼオフィス環境のなかで展示会ができるイメージです。

また、オンラインだけのイベントがふえていくと、リアルの場で展示会業界の職人さんの仕事がなくなってしまう。大型展示会場だけが現場ではなく、貸し会議室でも展示ができれば仕事の分母が増えることにもなる。そんな複合的な理由で、自分自身の今回のテーマは「貸し会議室×展示技術」をベースにしました。

—2日間のうち、初日は展示台やパネル組み立てから展示ディレクションまで、施工のスピード感を実感できるデモは反響もありましたか

**最上** 内覧会の参加者さんはイベント主催者やプランナーの方で、僕もアテンドしながらまわっていたんですが、「PHASE」の会場に入ると「なにこれ！」という驚きの反応があったり、工芸品や食品などのモノの展示以外に、ITサービスの展示をみた参

加者さんから「なるほど、こうしたうちの会社でもできそう」と可能性を感じる反応をいただいたりしました。その方はセミナーをメインにしているけれど、自社製品をただ会議室の長机にそのまま並べて置くよりも、展示台でみせるという見せ方がヒントになっているようでした。

展示というと、搬入口の確保や大型エレベーターが必要という会場特性も課題になってきますが、「PHASE」の展示台はそもそも1人でみるデザイン設計なので、そのコンパクトさからオフィスのエレベータでも十分に対応できました。搬入作業も朝8時から開始して搬入、組み立て、経師張り、タブレットのオンライン対応セッティングまで含めて15時には完成するスピード感も体験することができました。

—チャレンジしてわかった貸し会議室の展示の可能性を教えてください

**竹村** 「PHASE」の会場には2日間滞在していて、何名かに「貸し会議室の天井の低さをどう思いますか？」と質問を受けました。やってみての発見でしたが、展示空間やイベント会場は天井が高いスペースが多いですが、貸し会議室の天井が低いこと

はむしろ、展示台の上の商品に気持ちをフォーカスさせ、タブレットで出展者とオンライン上でのコミュニケーションにも距離感が近く感じる効果を生んでいました。

参加者さんから「集中できました」というコメントをいくつかいただきましたし、空間のコンパクトさ、出展者がいない展示会形式は話しかけられないパーソナルスペースをつくって、ある意味、気の済むまでみることができる。意外にも親和性がある空間だと思いました。

**最上** 自分が当初予定していた以上の情報量があって、気づきを得られるのが、画面上では伝えられないリアルイベントの良さだと思うんですね。PHASEにはその「リアルなイベントの価値」につながる場所がありました。もともと展示会の空間として優位性は低かったところでも、今回のスタイルだったらできることが実証され、幅の広がりを感じています。APブランドでは都内各所、横浜、名古屋、大阪にも展開しているので、同時開催やビルイン会場らしい企業ショールームとの連携など、縦横のネットワークも可能性の一つだと感じています。今回感じた価値をさらにプラスアルファさせて展開したいですね。

マーケティングではどちらを先に考えるべきか？

A 戦術 82% B 戦略

投票受付中

2020 12.21 MON @TORANOMON HILLS FORUM  
体験型マーケティングに学び、出会う1日  
#backstage20  
~初の冬開催~

今年の冬は暑くなる

# コロナ禍で“良くやった”でなく 組織力・経営力向上の機会に



TSO International株式会社  
代表取締役

## 佐々木剛さん



全文は Web で

スポーツ・健康、外食、レジャー、冠婚葬祭などの展示会を主催するTSO Internationalの代表取締役の佐々木剛さんに、展示会中止・延期について、コロナ対策をしながら開催したCAFERESやSPORTEC WEST、展示会のDXについてのお考えをうかがった。

けることが必要かもしれません。

### 延期と中止

#### 主催者と出展者

6月の「SPORTEC × HEALTH FITNESS JAPAN 2020」を12月に7月のCAFERESを10月に延期しました。10月末タイで予定していたSPORTEC ASIA 2020は中止です。

タイ開催を延期ではなく、中止したのは会期が1年伸びたら、それは翌年の開催と考えているからです。出展料返却の問題があるかもしれませんが、会計年度を超えてしまうと出展者も困ってしまいますよね。

### オンライン展示会は成功しない!?

いま展示会やビジネスイベントがオンライン化、ハイブリッド化してきています。

しかし私は、展示会をそのままオ

ンライン上で展開するという発想でのバーチャル展示会がうまく行かないと思っています。

実は弊社でもデジタル展示会プラットフォームを構築しているのですが、多くの出展者と来場者を集める、マス型のマッチングではなく、出展者1社向けに提供するプライベートショー支援サービスになっています。展示会主催者としてのデータベースを活用しますが、ビジネスモデルはまったく異なります。

いまは過渡期なので、皆さんが色々試行錯誤しているようですが、うまくデジタル化しないと、デジタル展示会はGoogle検索でいい、ということになってしまうので、良い方法を考えなければいけません。

展示会の優位な点は、信頼性の構築です。信頼構築は人と人が会うことが必須だと思います。画面越しではわからない、伝わらないことはたくさんあります。

コロナ禍は私たちリアルの場合、展示会関係者にとって、短期的には売上減少などダメージを受けていますが、オフラインの再評価、ビジネスモデルの再構築、DX導入など、長期的な面では経営革新の良い機会になる、と考えています。



### 来場60%で“満足”は期待値の低さ

来場者数が例年の6～7割程度。それでも出展企業の多くは満足いただき、良くやったと言ってくれます。ありがたいことですが、私たち展示会企業が「大盛況でした」というのはいかがなものかと思えます。

出展営業・契約の時に3万人が来場する展示会という前提でご検討いただいているので、だいぶ下回っています。コロナ禍で大変なのは事実ですが、もし別業界で同じことをしたら許されるでしょうか。

弊社スタッフは良くやってくれましたが、それとコレとは話が違います。

出展者数も同様です。展示会場に空きスペースがたくさんあるのは、その産業界自体が元気ないように見えてしまいます。

展示会主催会社が個別にできないようなこと、たとえば出展者・来場者全員にPCR検査するといったことは、業界団体から行政にはたらきか

## 映像解析で滞在者数管理

— キヤノン株式会社 サクラインターナショナル株式会社

9月19日にイベントの人数制限が緩和、ビジネスイベントなど大声での歓声、声援がないイベントは収容率100%まで入場可能になった。

この人数制限は同時にホールに滞在している人数に対してのもの。入退場自由で、複数の出入口がある展示会の滞留人数をリアルタイムに算出するのは、むずかしい。

それを解決したのが、キヤノン株式会社とサクラインターナショナル株式会社が共同で運用した、映像解析

を活用したホール滞在者数の管理だ。

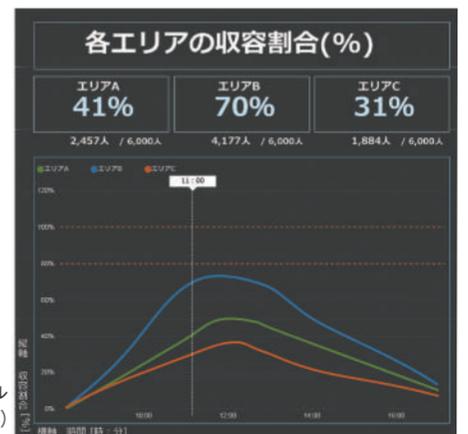
顔や人体を検出するAIを活用した技術で、映像を分析し、人の出入りを把握できる。各ホールの出入口にカメラを設置し、映像解析することで、手作業の人数カウントなしで、リアルタイムで滞留人数を管理可能だ。

10月7日に開催された、第90回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2020でも導入され、12台のネットワークカメラを連携し、安心安全な展示会開催をサポートした



(左) 会場内に12台のカメラを設置。リアルタイムで滞在人数を管理

(右) 管理画面サンプル (データはダミーのもの)



### ハイブリッド MICE 助成金を新設

— 福岡市

福岡市が市内のMICE施設と市内でMICEを開催する主催者を対象に、ハイブリッド開催支援・安全対策支援助成金を新設した。

施設向けに映像・通信機器、配信環境整備に経費の4/5、最大100万円。主催者には機材リースや運営に関わる人件費など経費の4/5、最大20万円。安全対策費は4/5、最大50万円が助成される。



詳細、担当者の動画インタビューはイベマケウェブサイトに掲載。

### 映像センターのスタジオから配信

— JCMA オンライン勉強会

日本コンベンション協会が10月15日に「2020年度 第1回勉強会 ～コンベンションの次の常識(前編)～」を開催。映像センターが配信を担当し、参加者の映像を背景にモデレーターがリアルタイムアンケートの結果を発表するなど、テレビ番組のような高品質な映像を配信した。セッション内容や勉強会の詳細は弊社ウェブサイトに掲載。



映像センターのスタジオから、TV番組のような映像を配信

## 博覧会・展示会の企画に参画させて下さい。

**IIDA**

飯田電機工業株式会社

<http://www.iidae.co.jp/>

- イベント事業本部 〒136-0082 東京都江東区新木場1-8-21  
TEL 03-3521-3522 FAX 03-3521-3524
- 千葉事業所 〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田2-38 鼎張ビル  
TEL 043-273-2441 FAX 043-273-2531
- 池袋サンシャイン事業所 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-1-4 文化会館3F  
TEL 03-3982-9551 FAX 03-3982-9564
- 大阪事業所 〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-9-9 阿波座パークビル  
TEL 06-6543-2880 FAX 06-6543-2884
- インテックス大阪事業所 〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102 インテックス大阪内  
TEL 06-4703-5401 FAX 06-4703-5402
- 本社事業本部 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7 表参道IIDAビル  
TEL 03-3409-3333 FAX 03-3409-0104
- 東北事業所 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-10-17 仙台一番町ビル6F  
TEL 022-716-2077 FAX 022-716-2078

□ 本社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7  
TEL 03-3409-3331 FAX 03-3409-3827



EVENT MARKETING からの大事なお知らせ

**スポーツ・地域・スタジアム**

次の2020年11月30日号で特集します

運動神経では負けませんわ♥



- 12月28日 結局コロナはなんだったのか
- 1月31日 企業がやるべきイベント・やってはいけないイベント
- 2月28日 空間ディスプレイ特集”行きたくない”をデザイン
- 3月31日 地域 MICE・イベント施設
- 4月30日号イベントのSDGs

広告出稿の問合せはこちら▷株式会社 MICE 研究所  
info@event-marketing.co.jp (担当: 田中力)